

## 栄養サポートチーム(NST)の介入により有害事象を回避した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、栄養サポートチーム（Nutrition Support Team : NST）担当薬剤師が、栄養療法に介入し有害事象の発現を回避したプレアボイドを紹介いたします。

### 患者背景

- ▶重症低血糖に対して加療目的で入院された患者  
低栄養状態であり、入院後より栄養状態改善のため以下の中心静脈栄養（TPN）が開始となった。
    - ・エルネオパNF1 号輸液 1000mL 24 時間かけて中心静脈より投与
- 担当医より NST の介入依頼があった。



D さん

### NST カンファレンス



栄養状態改善のためエルネオパが開始となっている D さんですが、低栄養状態に TPN を投与すると、リンが不足してリフィーディング症候群※を引き起こす可能性があります。  
エルネオパにリン酸ナトリウム補正液を追加してはいかがでしょうか。



NST 担当  
薬剤師

NST

そうですね、エルネオパに含まれるリンの量では不足する恐れがありますので、リン酸ナトリウム補正液を追加するよう提案しましょう。

NST カンファレンスの内容は担当医にフィードバックされ、リン酸 Na 補正液 0.5mmol/mL (20mL/A) が 1A 追加となった。その後、リフィーディング症候群の発現なく経過した。

NST 担当薬剤師が栄養療法に介入することで有害事象の発現を回避し、安全な薬物療法の提供に貢献できた。

### ※リフィーディング症候群

著しい栄養障害患者に栄養療法を急速・過剰に行った場合に、開始後早期に発症する代謝性合併症であり、重症化すると致死的になる。リフィーディング症候群の重症度に最も影響を与える因子は血清リン濃度の低下である。栄養療法開始時はリンやカリウム、マグネシウムの電解質のモニタリングが必要であり、リフィーディング症候群発症防止のために、栄養療法開始と同時にこれらの電解質の補充が推奨されている。